

2019年9月12日

関係者各位

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

2019年度スポーツクライミング国際競技大会ユース派遣選手選考基準 ～アジアユース選手権大会（中国およびインド）～

1. 権限の所在及び決定の方法

国際競技大会に派遣する日本代表選手を選考する最終的な権限は公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（以下「当協会」という。）にある。派遣選手の選考は、以下の基準に基づき、強化委員会が推薦し、常務理事会で承認することによって決定する。

2. 選手選考方針

- (1) 大陸別ユース選手権大会等で各カテゴリー全ての年齢別グループで優勝し、IFSC 杯を多く獲得することで恒久的に多くの日本選手が世界で活躍できる場を創り出す。
- (2) ユース日本代表として十分な実績を持つ選手及び今後の活躍が期待される選手の中から選考する。
- (3) 単種目およびコンバインド種目において活躍が期待できる選手を最優先に強化委員会が推薦し選考する。

3. 選手の義務

- (1) 当協会が定める規程やルールを遵守すること。
- (2) 選考された選手は、
 - ① 2019年アジアユースコンバインド選手権大会（2019年11月14～17日、中国・重慶）においてコンバインド種目（スピード、ボルダリング、リード）に参加すること。
 - ② 2019年アジアユース選手権大会（2019年12月12～15日、インド・バンガロール）においてリードとボルダリングは参加すること。スピードの参加は任意とする。ただし、複合（複合ポイント最小者）で選考された選手は、3種目全てに参加すること。

4. 選考対象資格

- (1) 2019年12月31日の時点で以下の年齢であること。
 - ・ユース B は、14歳または15歳であること。
 - ・ユース A は、16歳または17歳であること。
 - ・ジュニアは、18歳または19歳であること。
- (2) 当協会登録選手規程に従い、A登録をしていること。

5. 2019年アジアユース選手権大会 代表選手選考基準

① 2019年国内選考大会等

- a. スポーツライミング 第5回ボルダリングユース日本選手権倉吉大会（2019年5月18～5月19日、鳥取）
- b. 2019年JMSCAスピード記録会（2019年3月4日から2019年5月4日まで計10回実施）または公認スピード記録（2019年5月13日まで）のベストタイム
- c. スポーツライミング第22回ジュニアオリンピックカップ南砺 2019（以下JOC2019、2019年9月14日～16日、富山）

② 国別枠について

各種目において、各年齢別グループ（ジュニア、ユース A、ユース B）男女最大3名ずつ。

③ 2019年国内選考大会等による選考

派遣選手は、②の範囲内で以下の順に優先的に選出する。

a. 2019年ユース日本代表選手(計18名)

※世界ユース2019に派遣したIFSC枠保有選手および追加・単種目派遣選手を除く

	男子	女子	備考
ジュニア	田中修太	樋口結花	リード優勝者
	小西桂	中村真緒	ボルダリング優勝者
	天笠颯太*	黒岡水夢*	複合ポイント最小者
ユースA	百合草碧皇	森秋彩	リード優勝者
	川又玲瑛	菊地咲希	ボルダリング優勝者
	竹田創*	平野夏海*	複合ポイント最小者
ユースB	吉田智音	小池はな	リード優勝者
	関口準太	中川瑠	ボルダリング優勝者
	上村悠樹*	小倉紗奈*	複合ポイント最小者

*:網掛けは複合で選考された選手

b. 上記(③a.)の選手が参加できない場合の補欠候補選手

b-1. アジアユースコンバインド選手権大会(2019年11月14～17日、中国・重慶)

①a、b、cの順位の乗算ポイントの少ない者より順に選考する。

複合ポイントが同ポイントの場合は、その選手同士の①a、b、cごとに順位を比べ、より多くの種目で上位となった種目数の多い選手を上位とする。

b-2. アジアユース選手権大会(2019年12月12～15日、インド・バンガロール)

JOC2019 (①c) において、③a.を除く各カテゴリー年齢別グループの最上位者のみ選考する。

④ アジアユース IFSC 枠保有選手による選考

上記の派遣選手に加えて、2018年アジアユース選手権大会(中国・重慶)の実績によるIFSC枠保有選手(別紙)は、獲得した種目のみ参加できる。なお、③と④で重複する選手における追加選考は行わない。

IFSC枠については、2018年はコンバインド大会が実施されなかったため、アジアユース選手権大会(2019年12月12～15日、インド・バンガロール)のみ適用される。

⑤ その他

IFSCルールが変更された場合及び大会要項の変更があった場合には、選手選考基準も準じて改定をおこなう。

6. 決定時期

2019年9月下旬

2019年 IFSC 枠保有選手 一覧

1 IFSC 枠保有による候補選手

「2018年度 アジアユース選手権大会（中国・重慶）」

【ボルダリング優勝】

- ・小西桂（ジュニア）
- ・川又玲瑛（ユース A）
- ・中村真緒（ジュニア）
- ・平野夏海（ユース A）
- ・谷井菜月（ユース A）

【リード優勝】

- ・西田秀聖（ユース A）
- ・吉田智音（ユース B）
- ・平野夏海（ユース A）

【スピード優勝】

- ・抜井亮瑛（ユース A）